

高年齢者雇用優良事業所

新生ビルメンテナンス 株式会社

■業種／総合ビル管理

■常用労働者数／187人(男性63人、女性124人)

■所在地／久留米市宮ノ陣4-30-1

取組み内容

- ①高年齢者雇用率6%以上を2年以上継続して達成。
平成24年常用労働者193人、高年齢者89人 高年齢者雇用率46%
平成23年常用労働者180人、高年齢者67人 高年齢者雇用率37%
- ②モチベーションと技術向上のため、年1回、清掃の競技大会を開催。

高年齢者の貴重な経験や知識は会社の大きな財産

「高年齢者の雇用といっても、今まで働いていた人が歳を取っているだけです」と笑うのは、社長の杉さん。高齢化社会と定年問題が社会で議論されている中、時代を先取りしようと考えて平成23年に65歳に定年を上げました。従業員の平均年齢は58歳で、継続雇用制度により最高齢は81歳の従業員がいます。

高年齢者の技術や経験は貴重なものという考えから、本人の健康状態が良く、業務に支障がない限り、働き続けることができるというのが会社の方針です。この方針は新規雇用にも適用され、意欲と健康に問題がなければ、60歳以上でも採用され、実際に67歳での採用例もあるそうです。

杉さんは「今の60代70代は元気ですよ。仕事も真面目にやってくれるし、こんな人たちを放っておくのはもったいないです」と語ります。ただし、ビジネスとしてやるからには、時代に応じて必要な知識もあります。現在は個人情報や節電、節水についての研修を行っているとのこと。

また、従業員たちのモチベーションを維持するため、年1回、清掃の競技大会を開催しています。チームに分かれて速さや正確さを競う大会では、優勝チームにはトロフィーと賞状、賞金が授与されます。さらに、年一回の一泊二日の慰安旅行や現場のコミュニケーションを図るため、懇親会を職場毎に行っています。

「働きやすい会社、働き甲斐のある職場作り。これが会社としての取り組みです。歳を取っても働ける職場を、私は勝手に誇りにしています」。杉さんは嬉しそうにこう言います。高齢化社会が進む今日、「勝手に誇り」は企業が成長する元気の源になっていました。



新生ビルメンテナンス
株式会社
代表取締役 杉昭男さん。

競技大会に向けた練習風景。
チーム全員で練習することで
実力が上がるだけでなく、
コミュニケーションも図れます。



社屋の3階には研修所があり、
技術と知識向上・維持のための
研修と清掃競技大会を開催しています。